

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2011 年
7 月号

VOL.357



HP情報

- 民間(旧四会) 連合協定工事請負契約約款改正のお知らせ
- 東日本大震災復興支援活動のパネル展示のご案内
- 建築確認手続き等の運用改善、規制改革等の要請への対応及び東日本大震災への対応に関連して発出した技術的助言
- 建築確認手続き等の運用改善(第二弾) 及び規制改革等の要請への対応に関するQ&A
- 建築確認手続き等の運用改善、規制改革等の要請への対応及び東日本大震災への対応に関連して発出した技術的助言
- 平成23年度「既存住宅流通・リフォーム推進事業」の募集が開始されました。(国土交通省)



目次

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| ① 建築探訪 | ⑫ 理事会報告 |
| ③ 会長挨拶 | 旅のクイズ |
| 賛助会長挨拶 | ⑬ 「環境省エコハウスモデルの見学会」に参加して |
| ④ 副会長挨拶 | 『机の隅に』講習会に参加して |
| ⑤ ⑥ 新理事紹介 | ⑭ 事務局便り |
| ⑦ シリーズ ぶらり街並み散策 | 編集後記 |
| ⑨ ⑩ 新支部長紹介 | |
| ⑪ 今我々にできることは | |

被災された単位会の仲間へ全力の応援を!!

建築探訪

むりょうこうじけいだい おいしゃり 無量光寺境内と笈退の遺跡

相模原支部 竹尾 秀一

無量光寺は相模原市南区当麻にある時宗の道場、時宗当麻派の仏教寺院で今から690年の昔より参詣者が訪れている。会報誌3月号のぶらり町並み散策で紹介した当麻山道の多摩方面から木曾で境川を渡り当麻山無量光寺へ向かう道筋では道標がたてられ、現在でも数カ所あります。

山号を当麻山といい金光院と号する。藤沢市にある遊行寺（清浄光寺・会報誌2月号のぶらり町並み散策で紹介）とともに、時宗大本山のひとつである。弘長元年（1261）に一遍上人（1239-1289）が開山し二世の真教上人によって山号になったといわれる。

当時は亀形峰と呼ばれ、本堂を中心とした丘が亀の甲羅、山門下東に首、後方の山林に「笈退の水」という湧泉がありこれを亀の尾として、7000坪を有していたのでしようがそのような目で見れば見えない事もない様ですが現在は周りに住宅や、相模原市当麻山公園になっていて4500坪程度の敷地になっており



緑ヶ丘道標



龍像寺坂道標



冠木門



山門 背面



仮本堂



鐘楼

ます。本堂など20数棟があったが、安政二年（1773）には桜門を、明治二十六年（1892）には諸堂宇のほとんどを焼失し二脚門だけが残った

境内は松、杉などの樹林に覆われ、参道は両側に茂る樹林が昼も暗く、古寺にふさわしい閑静なたたずまいを見せている。また寺域

周辺のあちこちにも巨木が姿を残し、かつての寺域がそのあたりまで広がっていたことを思わせ、その頃（700年前）の寺の権勢を偲ばせる。

冠木門をくぐりゆったりと登る参道を進んでまず最初に目にするのが、「当麻山」の扁額を掲げた二脚門の山門。腕木門の親柱の背面に袖をつけ、屋根をかけた高麗門と呼ばれる形式の門です。間口は12尺（約3m60cm）、親柱も1.5尺ほどあり、県内にある同じような山門は報国寺表門、浄智寺外門（ともに鎌倉市）と平塚市の蓮光寺山門の3つがあるだけで、無量光寺の山門はこれらと比較しても規模が大きく建立年代も古く製作技術的にも優れたものであり堂々たる佇まいをみせています。

その先に永代供養墓。近年永代供養墓がお寺に目に付くようになりました。少子化が進み家族構成にも変化が生じています。先祖代々の墓所を子々孫々が守っていく後を見守る人が途絶える、そんな時代でしょうか？

石畳を進むと正面に一遍上人の銅像が建っています旧本堂跡です。伽藍の位置



笈退りの石碑

は、明治26年に焼失するまで、山門から真直ぐに参道がつきあたる正面にあったが、その後、仮本堂が現在の位置に建てられている。仮本堂には一遍上人の自作による立像が安置されており御影の像とあがめられています。古文書とともに市の重要文化財になっている。

当麻山北方の出入り口から、上溝の方向へ300メートルほど進む国道沿いに、笈退りの入り口を示す石碑がある。碑には僅かに「竜神勧請井」と読める。ここから林の中に入るとほとんど人が通らないような小道があり、さらさらと小川が流れている。もっと奥のまるで獣道のような道を行くと池があって、かつてそこから湧き出たであろう石積の脇に穴があり、ほとりに古い石碑と新しい石碑の二つがある。古い方は注意しないとデカイ石に見えるが、「一遍上人笈退の泉」と読める、以前はこの環境を利用したわさび田の跡が見える。

現在も笈退りの水を塩ビ管でひきおろし洗い物に利用されている民家の方が結構いられる。

笈退りの遺跡では無く現在も利用されている尊い笈退りの水です。



永代供養塔・墓



一遍上人

新年度を迎えて



会長 上原 伸一

このたび、前年度に引き続き社団法人神奈川県建築士事務所協会の会長の任に当たることになりました。当会は改正建築士法による法定団体として、建築士事務所の業務の適正化と消費者保護という大きな役割と責任を担い3年目を迎えましたが、私たちに対する社会の期待を大いに感じる昨今、その職責の重さを痛感し身の引き締まる思いです。

また、会員の皆様には平素、構造計算書偽装事件に端を発した一連の法改正への対応、経済の停滞の煽り、リーマンショックに続く震災の社会的影響等による大変な困難な中で、当協会に対する多大なるご協力、ご支援をいただいていることにこの紙面をお借りし心より感謝申し上げます。

3月に発生した東日本大震災に対しては、建物や街に関わる業務を行っている専門家集団として、被災地や被災民の援助、復興のために会

員の皆様に情報収集及び情報発信、並びに支援活動の協力をお願いしましたが、義援金（支援金）につきましては多くの会員と各支部の協力で既に第1次、第2次の分をお送りしたところです。引き続き今後の被災度区分判定、ボランティア活動、義援金等の支援活動に対しご理解ご協力をお願いいたします。

当協会は引き続き日事連並びに全国の単位会と歩調を合わせ、また各支部のご協力もいただきながら法定団体としての社会的役割責務を果たしていくと共に、関連団体とも連携も深め、消費者側の立場になって、私たちへの理解を深め信頼を得られるように一緒に活動をしていきたいと考えています。

また特に今年度は、組織の強化並びに経営の安定化に向けた喫緊の課題として会員増強への取り組みと、一般社団法人化に向けての具体的な取り組みに対し、引き続き会員の皆様の絶大なるご理解とご協力をいただきますようご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



神事協・賛助会 会長 太田 清一郎

本年5月25日の総会により、新年度の賛助会・組織が発足しました。

今年の活動の柱は「

みらいふれあいフェスティバル2011」です。

東日本大震災の当日、私は神事協で打ち合わせを行っていました。

徒歩で帰宅し、家族の安否を確認後に町内の

一人暮らしの高齢者宅に大丈夫ですか？と声掛けをしました。展示会は一般的に機器＝ハードが中心となりがちですが、防災ネットワークなどのソフト面も含め、本会の皆様と協業体制を一層深化させて私達に出来る事、一般市民へ様々な視点と平明な説明によって、具体的で日常生活に取り入れてもらえるような防災・展示会になればと願っています。英知を出し合い成功させましょう！

新年度を迎えて



副会長 小林 忠志

前期に引き続き副会長となりました重責に心の引き締まる思いです。

担当委員会はブロック支部委員会、技術調査委員会、住緑家特別委員会、耐震診断特別委員会の担当と

なりました。

前々期はブロック支部を担当しましたので、その経験を生かして各支部の会員増強、活性化に手助けできればと考えております。

又、支部の意見を出来るだけくみ取り、各支部の皆様にはもっと神事協を理解頂けるよう役割を果たしたいと思っております。その他の委員会は初めての担当ですので委員長、委員皆様の活動がより活性化するよう手助け出来ればと考えております。

今、神事協は一般社団法人へ向けての取組み、会員増強に向けて大切な時期でもありますので上原会長のもと副会長、理事が結束しなければなりませんので上原会長の補佐役として微力ながら尽力していきたいと思っています。



副会長 芝 京子

弥生の桜、卯月の若葉、皐月の雨の雫…。

3月11日忘れられない大震災から4ヶ月が過ぎてゆく中、桜の花の美しさ、若葉の命の尊さ、さらさらとした雨の雫の希望の輝き、今年ほど胸を打

つようにその美しさを感じたことはありません。

大震災も、桜が咲くことも自然が成せる事。私達はより一層自然に畏敬の念を深め、被災された方々共々希望を持って前に進むことしかありません。

会員の皆様方には(社)神奈川県建築士事務所協会の活動にご理解、ご協力いただき、心から感謝いたします。2期目の副会長を拝命し、心が引き締まる思いでございます。本年度、更なる努力をもって神事協の運営に携わらせていただく所存でございます。

平成23年度が始動いたしました。22年度より継続している一般社団法人移行等検討・会員増強は重要課題の1つとなっております。本年度から景観まちづくり特別委員会、セカンドオピニオン特別委員会が新設され、その活動も期待されることと思います。当協会及び賛助会他団体の参加をも見据えた、県民と建築関係者との交流「みらいふれあいフェスティバル」が9月9、10日の2日間執り行われます。実行委員会におきまして、活力ある委員が結集され、非常に熱い思いで準備に取り組んでおります。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

各支部、委員会、賛助会、事務局それぞれの力が神事協を支えており、皆様一人ひとりのご参加が会の活性化を促します。どうぞより一層のご参加、ご協力を賜りますようお願い申し上げ新年度のご挨拶とさせていただきます。



副会長 松 茂廣

建設不況に追い打ちするように、東日本大震災が起こり、福島原発の事故の終息の兆しも見えない。それに政権内のゴタゴタ騒ぎのため復興の指針も見えない日本。その難しい23、24年度の副会

長を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。本来、当職は会長の補佐役の立場でありますので、出すぎたことをしないよう心使いをしなければならぬ立場と認識はしておりますが、せめて、神事協の中を明るくする、元気にするにはどうしたら良いかを考え

続けたいと思います。一人の力はたかが知れていますが、しかし神事協の会員が一同となれば大きな力となります。全員が参加出来る事業や、会員の要望、相談窓口の創設、等々を会長が仕掛けると思いますので、是非参加して頂きたい。そこに参加することで神事協としての力と会員の力が発揮でき、元気になる一歩ではないかと思っております。

山の動く日来る、かく云えど、人はこれを信ぜじ。

山はしばらく眠りしのみ

その昔。彼等みな火に燃えて動きしを。

されど、そは信ぜじともよし、人は、ああ、唯これを信ぜよ、今ぞ目覚めて動くなる。

新年度を迎えて

平成23～24年度 新理事・役員紹介



総財務委員長

根岸 光司

横浜支部

(有)工又設計



技術調査委員長

「住・緑・家」運営特別副委員長

玉田 正人

横須賀支部

TAMA設計一級建築士事務所



総財務副委員長

大森 義則

横浜支部

(有)大森設計工房一級建築士事務所



技術調査副委員長

永田 健治

相模原支部

(株)湘南設計



総財務副委員長

中村 正昭

鎌倉支部

(有)中村正昭一級建築士事務所



企画業務委員長

折笠 幸男

川崎支部

(有)折笠幸男建築設計事務所



総財務委員

山口 則行

平塚支部

Y N・A設計



企画業務副委員長

景観まちづくり特別委員長

平山 正義

横浜支部

(株)アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ



総財務委員

古茶 珠枝

厚木支部

すまいる設計事務所



企画業務副委員長

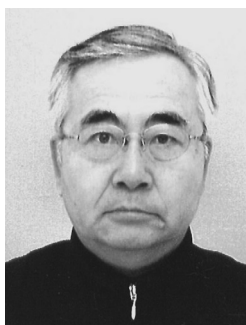
遠藤 吉博

横浜支部

(株)ソナース建築事務所

新年度を迎えて

平成23～24年度 新理事・役員紹介



広報情報委員長

佐藤 光良

横浜支部

(株)汎綜合都市研究所横浜事務所



ブロック支部副委員長

小林 幸一

県西支部

ソシオ・アーキテクト



広報情報副委員長

内騰 隆之

湘南三浦支部

(有)内騰・建築設計事務所



ブロック支部委員

平山 元英

藤沢支部

(株)平山建築設計事務所



ブロック支部委員長

家づくりセカンドオピニオン特別委員長

白井 勇

川崎支部

(株)ボロスデザインシステム一級建築士事務所



ブロック支部委員

山本 敏夫

秦野支部

山本建築設計事務所



ブロック支部副委員長

小渡 佳代子

横浜支部

(株)小渡建築設計室



ブロック支部委員

来住野 昇

愛川支部

きしの建築事務所



耐震診断業務特別委員長

ブロック支部副委員長

西倉 哲夫

相模原支部

(株)ユニバァサル設計



設計監理指導委員長

ブロック支部委員

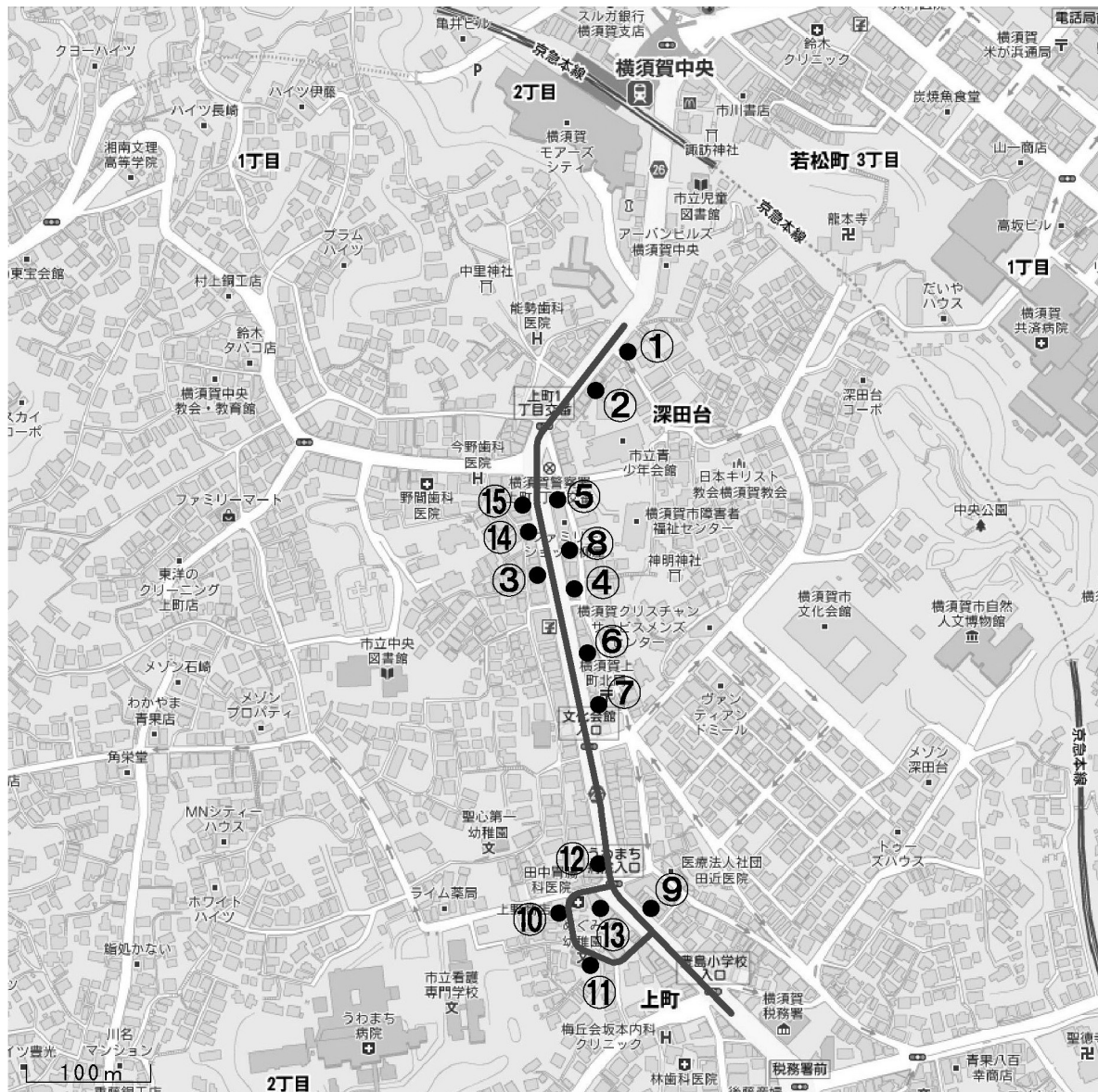
増田 務

横須賀支部

(株)里木アルファデザイン

町並み散策ぶらり in 神奈川

海軍士官が住んでいた 昭和初期の面影が残る町並み 横須賀 上町



横須賀中央駅から徒歩5分、約500mの商店街に昭和初期に建てられたモダンな建物が残っています。
建物は現在、画廊、喫茶店、アンティークショップなどにも活用され、レトロで新鮮な雰囲気をかもしだしています。